

下北沢駅西側エリア 立体緑地設計内容等報告会

プログラム

1. 開会

2. 報告

世田谷区小田急線上部利用計画（平成27年8月策定）

下北沢駅西側エリア（ワークショップ内容の振り返り）

立体緑地設計内容等

今後の予定

3. 質疑応答

4. 閉会

平成29年9月28日（木） 19時00分～20時30分

世田谷区 小田急線 上部利用計画

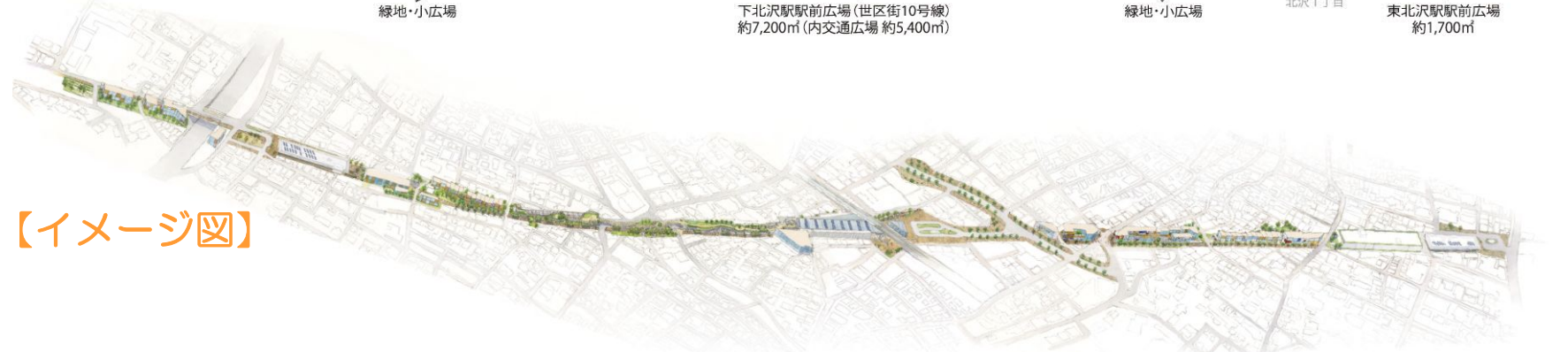
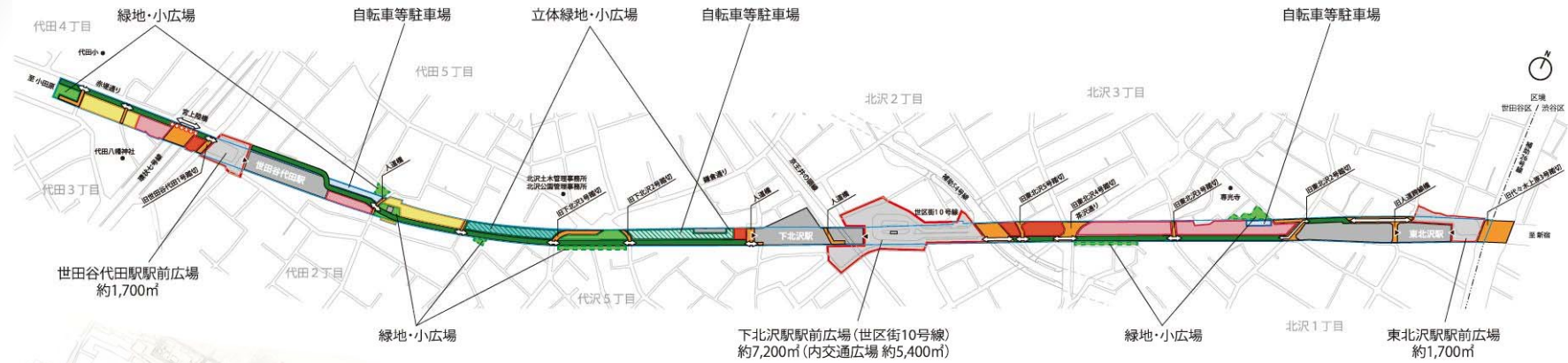
世田谷区
小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)
上部利用計画

平成27年8月

世田谷区

小田急線上部利用の施設配置（ゾーニング構想）

【施設配置図】



【イメージ図】



オープンハウスの様子

区の上部利用のコンセプト：「防災、みどりの基軸づくり」

広域避難場所
(羽根木公園一帯)



【施設配置】



施設の種類	面積 (㎡)
駅前広場	約10,600
通路	約4,000
緑地・小広場	約2,900
立体緑地	約1,750

・面積の数量については、今後実施する協議、測量等により変動します。

・立体緑地の面積は、整備区域面積(約300㎡)と構想範囲面積(約950㎡)の合計です。

凡	例
↔ 交差道路等通行の安全性の確保	駅前広場(世田谷区整備)
■ 鉄道事業者施設(駅舎等)	通路(")
▶ 改札口	緑地・小広場(")
〇 交差道路	立体緑地(")
〇〇〇〇 環七横断橋(世田谷区整備)	※ 自転車等駐車場(小田急鉄整備)

※図・写真はあくまでもイメージです。

駅前広場

街の玄関となる駅前広場には、交通結節機能のほか、防災広場や区民の交流広場などの生活・文化拠点に相応しい機能が求められています。世田谷区では、これらを踏まえ、上部利用や駅舎など鉄道事業施設との関係を考慮した連続性に配慮するとともに、周辺隣接地との関係なども十分考慮して整備します。また、地域活性化のためのイベント等の場、災害時に備えての防火水槽等を備える場として整備します。

- ・下北沢駅駅前広場（世区街10号線） 面積約 7,200 m²（内交通広場約 5,400 m²）
- ・東北沢駅駅前広場 面積約 1,700 m²
- ・世田谷代田駅駅前広場 面積約 1,700 m²



（交通広場）

（災害時の防災広場）

（区民の交流広場）

通路

歩行者・自転車等の区民の日常的な利用に供するとともに、災害時には緊急車両の通行や防災活動を可能とする連続した通路（幅4mを基本とする）を整備します。また整備にあたっては、道路との交差部は安全に横断出来る対策をするとともに、可能な限り緑地を併設するなど、通行の安全や住環境の保全に配慮します。



（歩行者・自転車等が通行する通路）



（災害時の緊急車両）



（潤いを与える施設）



緑地・小広場

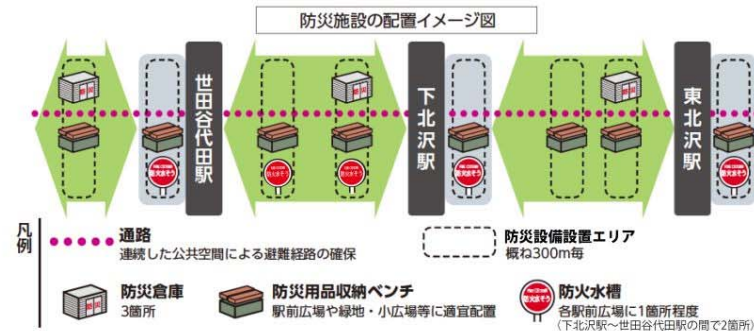
通路に加え、緑地・小広場を世田谷区が整備し、シームレスな豊かな緑の癒し空間の拠点とします。また、計画の段階から区民参加を進めることによって、行政だけでなく区民、NPOとのパートナーシップによる緑の維持管理等の取り組みを目指します。

防災施設

防災倉庫や防災用品収納ベンチ等を適宜配置し、防災・減災の機能を充実させます。また、駅前広場には、防火水槽を設置します。



防災倉庫参考イメージ



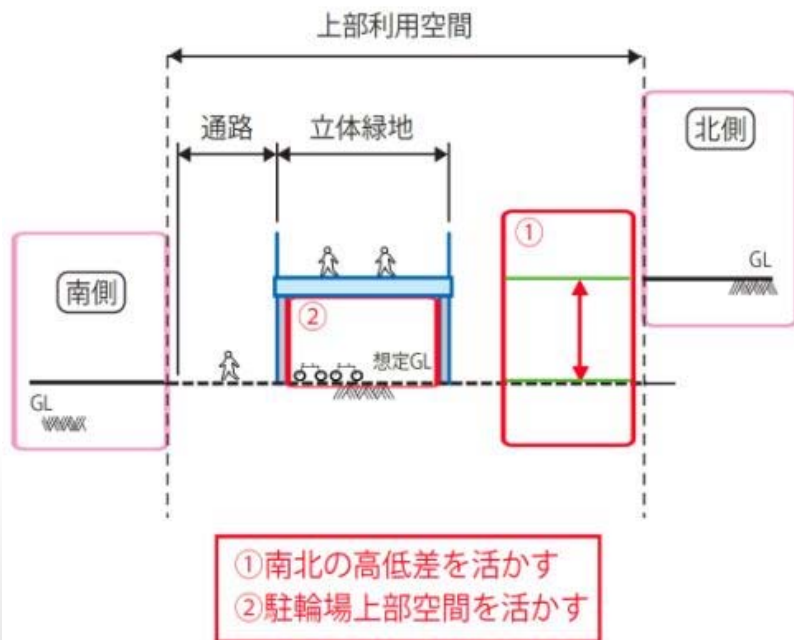
立体緑地

考え方

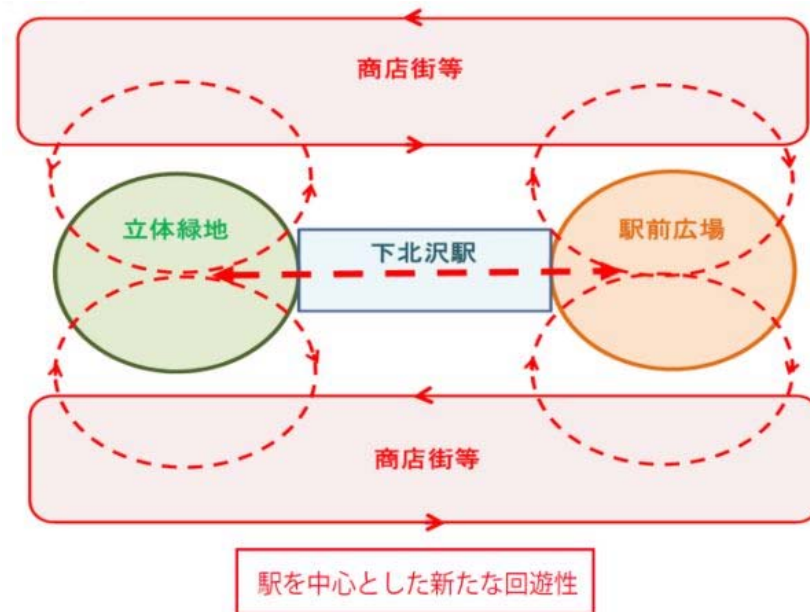
下北沢駅西側において、南北の高低差や自転車等駐輪場の上部空間を活かしデッキを整備することで、回遊性や歩行者の安全性の向上を図り、新たなまちの魅力を創出します。



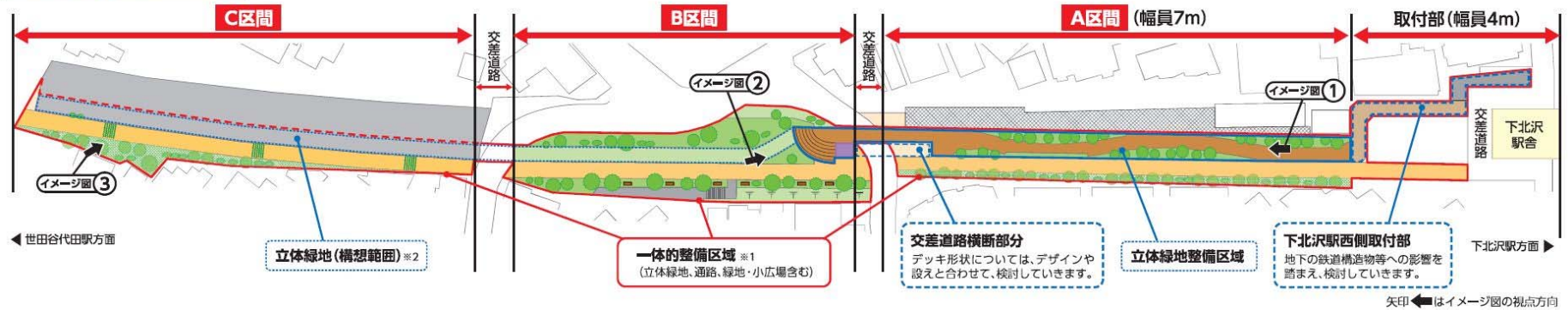
【下北沢駅西側地形イメージ図】



【概念図】



立体緑地 平面イメージ図



※2 立体緑地(構想範囲)

C区間は、主に、駅利用者や来街者のために小田急電鉄が駐車場を整備する区間です。

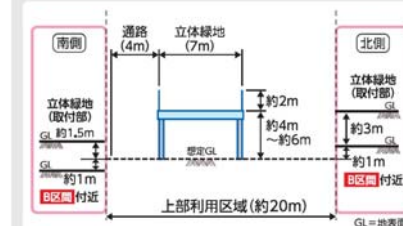
将来、街の発展に併せ、様々な利用(新たな土地利用等)を受け入れられるような伸びしろを想定し、必要な時にはデッキをさらに延ばしていくことを可能とする範囲と、位置付けます。

※1 一体的整備区域

下北沢駅西側から延びる緑化したデッキと、地上部の通路や緑地・小広場を一体的に整備する区域です。

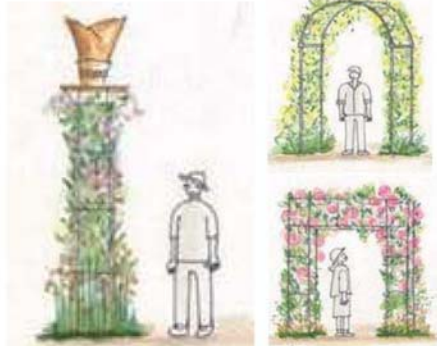
例えば、デッキからB区間の緑地へテラス状の階段を配置し、トレリス(イメージ面③参照)等によるC区間の積極的な緑化などを施し、機能的、景観的にも調和のとれた魅力ある空間となるように整備していきます。今後、ワークショップ等の場を設け、デザインや設え、管理運営など、区民の皆さまとともに考えていきます。

立体緑地A区間断面イメージ



デッキ上部分は、人が円滑に通行できる幅員の確保、歩いて楽しめる空間の創出のため、植栽等の配置を考慮し、総幅員を7mとします。また、ユニバーサルデザインや周辺へのプライバシー確保などに配慮します。

イメージ面③ トレリス



イメージ面② B区間 階段部分



イメージ面① A区間 デッキ上部分



下北沢駅西側エリア （ワークショップ内容の振り返り）



ワークショップの様子

北沢デザイン通信

号外
平成 28 年 3 月
平成 28 年（2016 年）3 月発行
世田谷区北沢総合支所づくり課
拠点まちづくり第一課

下北沢駅西側エリアの検討ワークショップを開催しました

ワークショップの目的

世田谷区では、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体交差事業等による鉄道地下化に伴い生じる跡地利用（以下、「上部利用」という）の検討を進めてきました。平成 27 年 8 月に、「世田谷区小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用計画」をまとめるとともに、上部利用計画の内容を紹介する「オープンハウス（パネル展示等）」や、「北沢デザイン会議」を開催するなど、その内容を広く発信してきました。

今回、上部利用のうち下北沢駅西側エリアを対象として、区の整備プラン（緑地や道路等）を検討することを目的に「下北沢駅西側エリア緑地・道路検討ワークショップ」を開催しました。

対象地（下北沢駅西側エリア）の概要

ワークショップで検討対象とした区域は、小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）上部利用のうち、下北沢駅の西側エリア（約 300m）です。

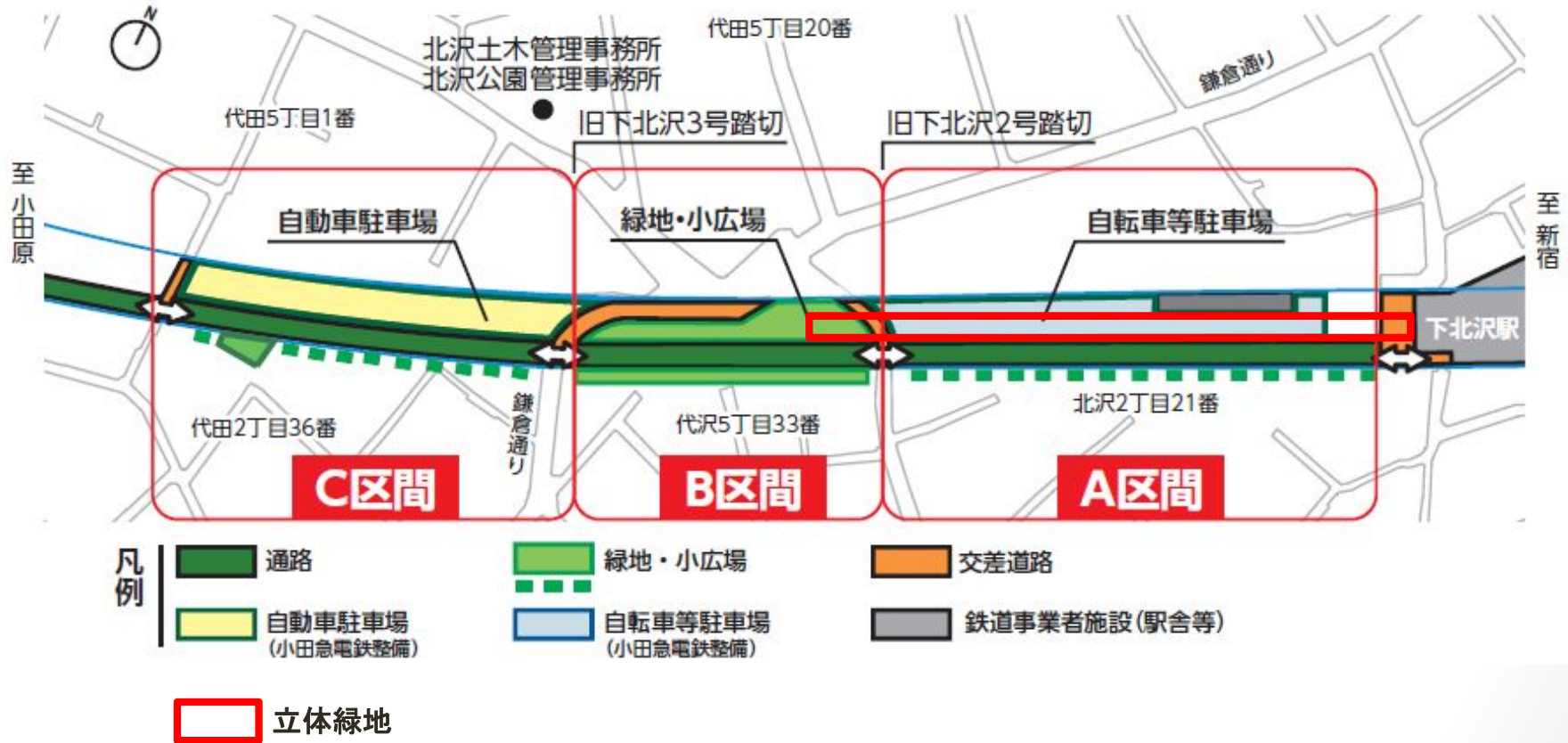
ワークショップの経過

ワークショップは、平成 27 年度に全 3 回、開催しました。

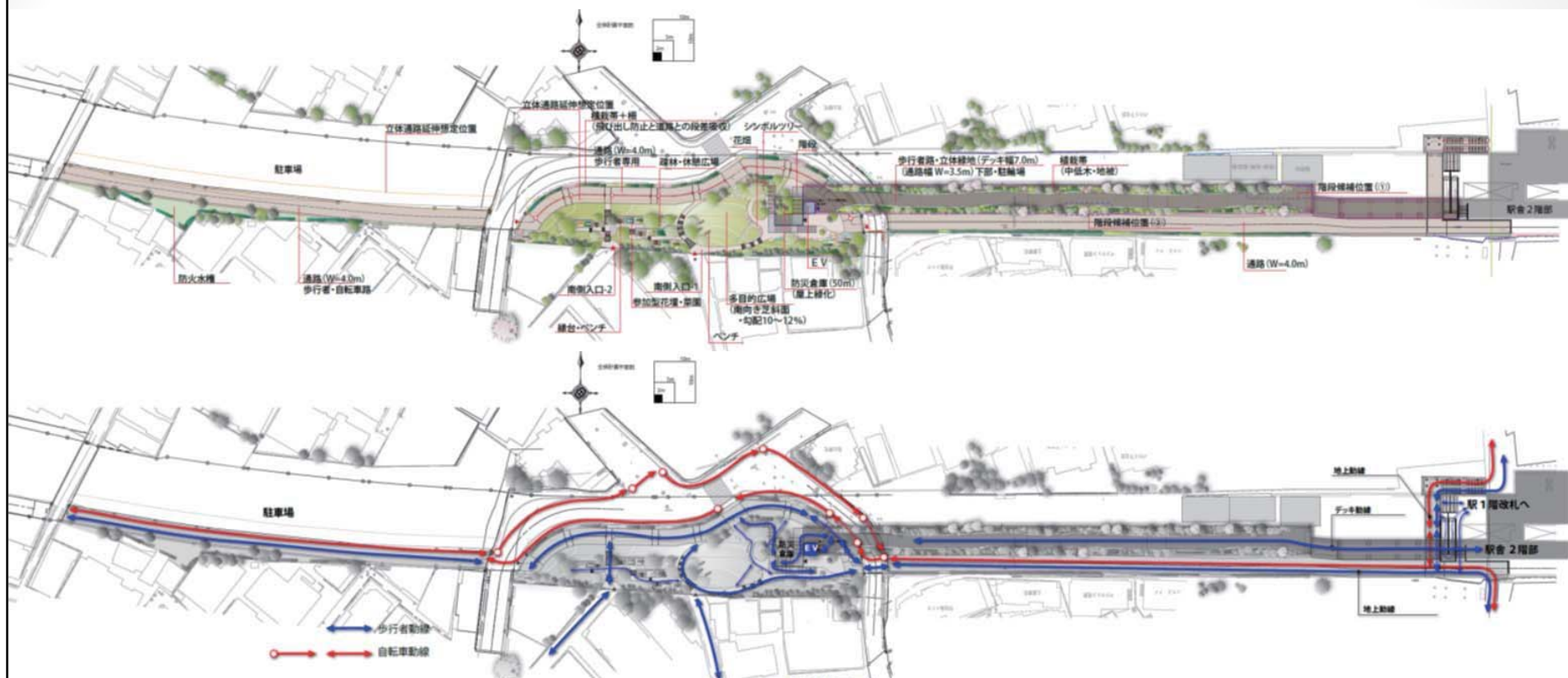
第 1 回	第 2 回	第 3 回
<p>「思いや考えを共有する」 下北沢駅西側エリアの緑地や道路に対する皆さんの思いや考えを共有しました。</p> <p>平成 27 年 10 月 17 日（土） 参加者 45 名</p>	<p>「アイデアを出し合う」 エリア全体の整備コンセプトについて確認し、3 つの整備プラン（案）をもとに、意見交換を行いました。</p> <p>平成 27 年 11 月 28 日（土） 参加者 46 名</p>	<p>「整備イメージをつくる」 これまでの検討をふまえて作成した整備イメージ（案）について、意見交換を行いました。</p> <p>平成 28 年 2 月 6 日（土） 参加者 38 名</p>

- 1 -

下北沢駅西側



整備イメージ（案）



コンセプト“みんながつながる緑の庭”

【みんながつくる緑の庭】

回遊のきっかけとする装置としての緑／みんなで守り育てる草花で多様な彩と表情を付加する庭

【まちの記憶を継承する庭】

商業空間、文化の発信地、住宅地等の多様な表情と呼応しながら、まちの記憶を継承する庭

【みんなが交流する庭】

イベントもできる空間（文化活動の場）を確保し、多世代が交流する庭／みんなが使いこなす庭

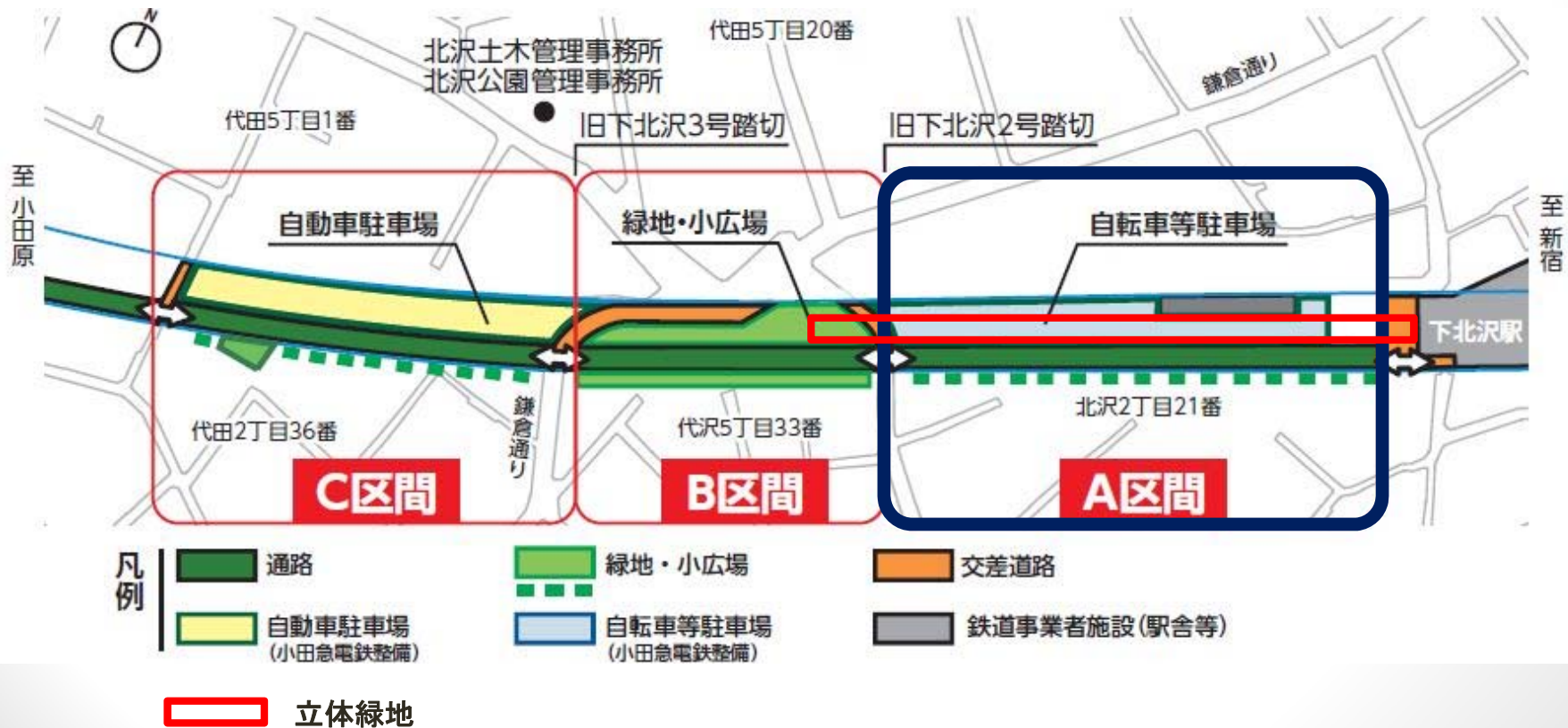
ワークショップ時のイメージ映像



第3回ワークショップにおけるアイデアのまとめ（A区間）

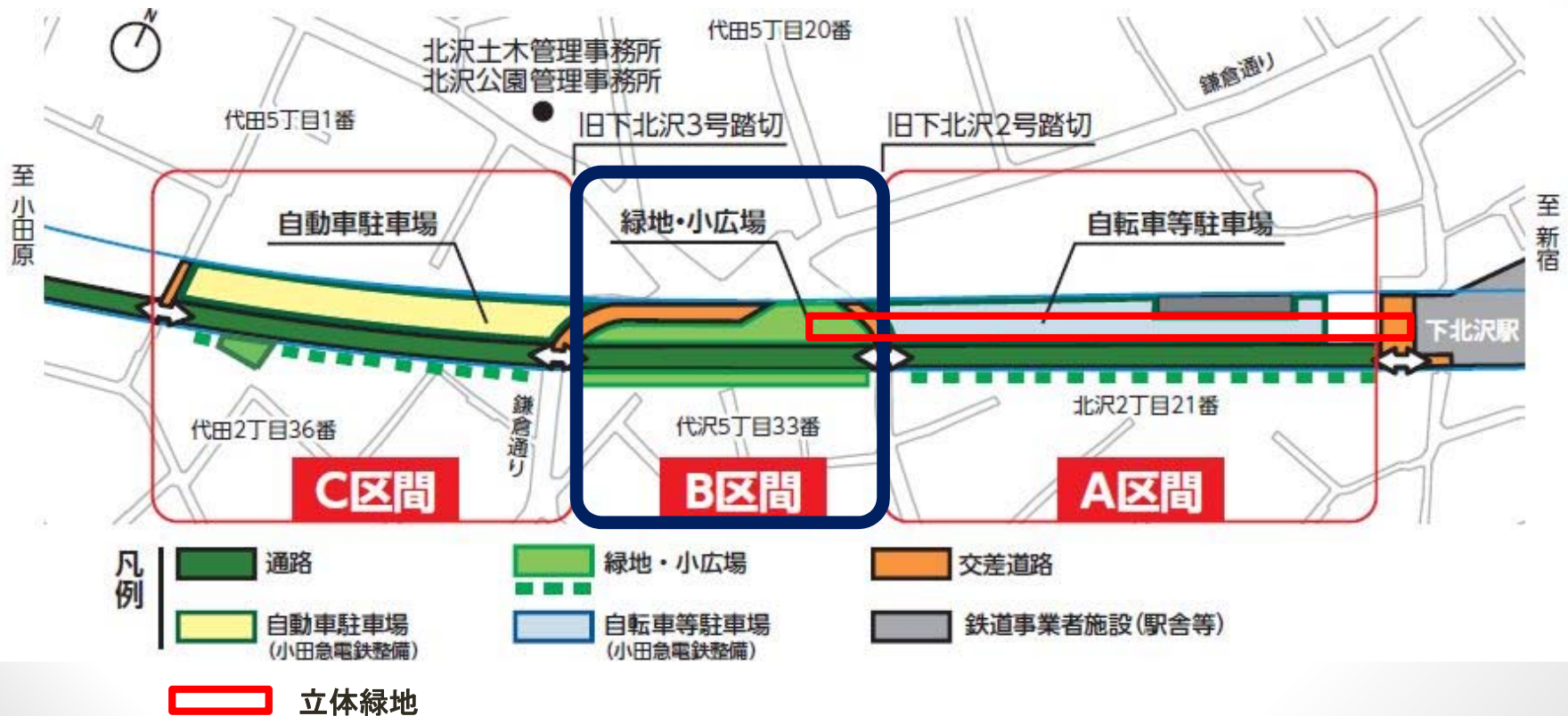
第3回ワークショップでは、整備イメージ（案）をふまえ、4つの論点について意見交換を行い、以下のようなアイデアが出されました。

論点	確認できたこと	いただいたご意見
プライバシー 配慮のための 植栽のあり方 （A区間）	<ul style="list-style-type: none"> 整備イメージ（案）でよいが、景観に配慮するとともに、隣接するマンションの方などに説明しながら進めるのがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場ができてから、シートをはるといった配慮をしたらどうか。 周辺から見ても良い景観になるようデザインする。



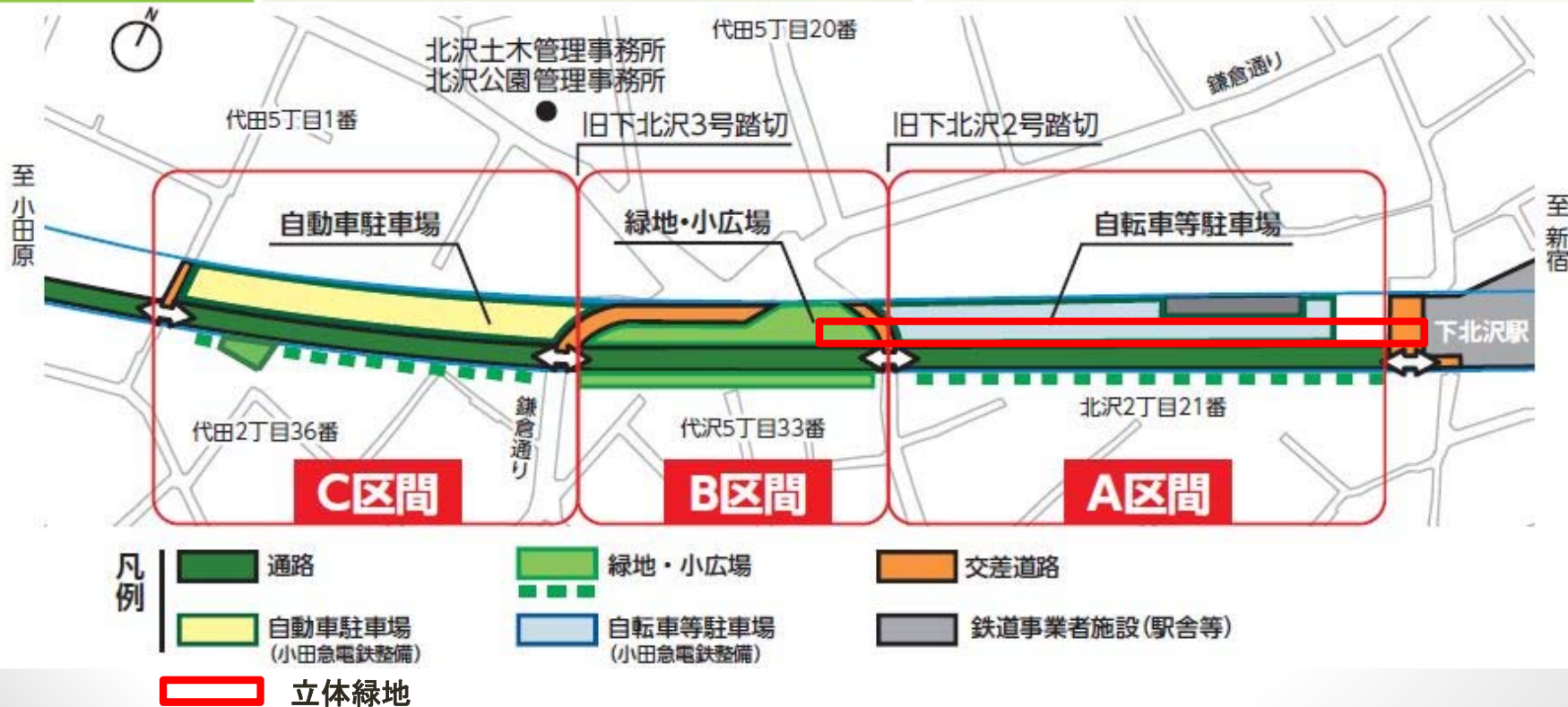
第3回ワークショップにおけるアイデアのまとめ（B区間）

論点	確認できたこと	いただいたご意見
緑地・小広場の使い方 （B区間）	<ul style="list-style-type: none"> なるべくモノはつくりず、できるだけシンプルな空間とする。 自然を感じさせる空間にする。 菜園は端に寄せて、パブリックスペースとしての広場を広く確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災倉庫は、目立たないようなデザインにしたい。 4m 通路を狭くして、緑地・小広場のデザインを工夫できないか。 車椅子でも楽しめるよう、ユニバーサルデザインに配慮してほしい。



第3回ワークショップにおけるアイデアのまとめ（全体・歩行者動線）

論点	確認できたこと	いただいたご意見
自転車の通行ルールやしつらえ（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者が安全に歩けるように検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩車分離がよい（電動アシスト自転車は、重量があり押し歩きが困難）。 歩行者（特に高齢者）の安全確保のため、フェンス等で歩車分離してほしい。 舗装の色で分離する。 B区間内に相互通行の自転車道ができれば安全だと思う。
歩行者の動線	<ul style="list-style-type: none"> 立体緑地の両側（緑地・小広場側、下北沢駅側）に階段を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑地・小広場へ下りる階段については、見せ方に工夫が必要である。



全3回ワークショップの成果と今後の課題

全3回のワークショップの成果と今後の課題は、以下のとおりです。

	成果	今後の課題
全体	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みんながつながる緑の庭」をコンセプトとして整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 植栽の維持管理について
A区間	<ul style="list-style-type: none"> ● 立体緑地の通路は、ゆるやかな曲線基調とし、根元から立ち上がる植栽を配置します。 ● 周辺住宅のプライバシーに配慮し、住宅の開口部に面する部分は植栽を密にする等の工夫を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な植栽やしつらえについて ● 自転車の通行ルールについて
B区間	<ul style="list-style-type: none"> ● かつての谷戸の地形を活かした広場とします。 ● シンプルな空間とします。 ● 立体緑地から緑地・小広場へ多方向に下りる階段を配置します。 ● 防災倉庫は植栽で修景します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑地・小広場の利活用や管理、運営方法について
C区間	<ul style="list-style-type: none"> ● 通路沿いには植栽して、住環境に配慮します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の通行ルールについて

成果を踏まえ、設計を進めていく

整備イメージ（案）



主要な施設のイメージ



緑地・小広場

階段・エレベーター

立体緑地と通路

立体緑地

※ワークショップで使用したVR（バーチャルリアリティ）映像より抜粋



本日の説明内容



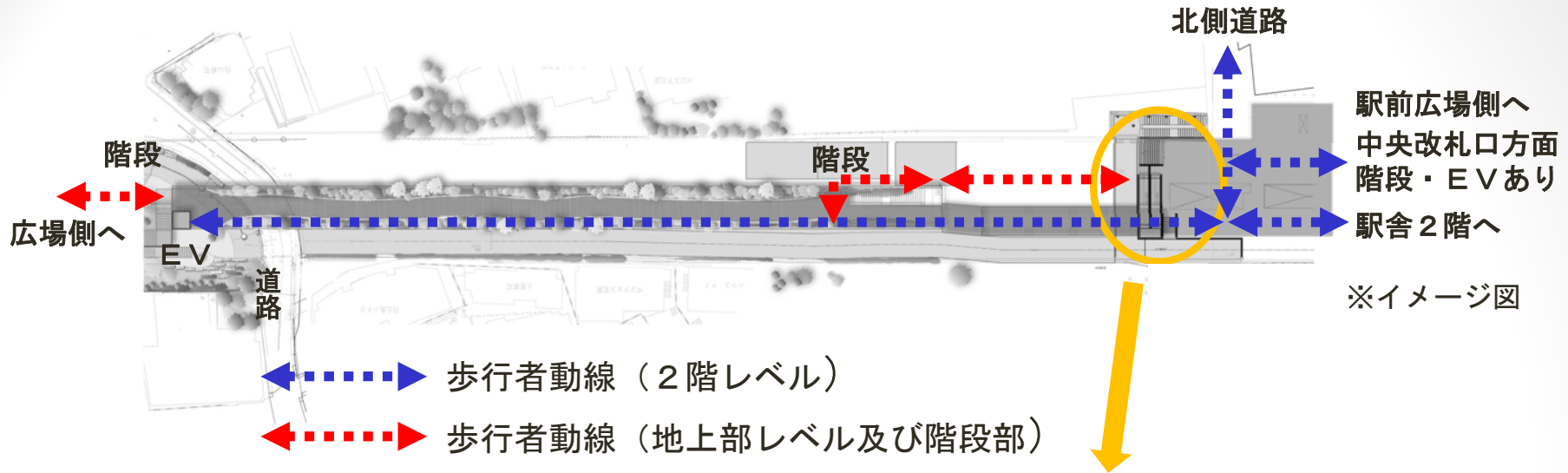
検討中（今後報告会開催）

立体緑地設計内容等

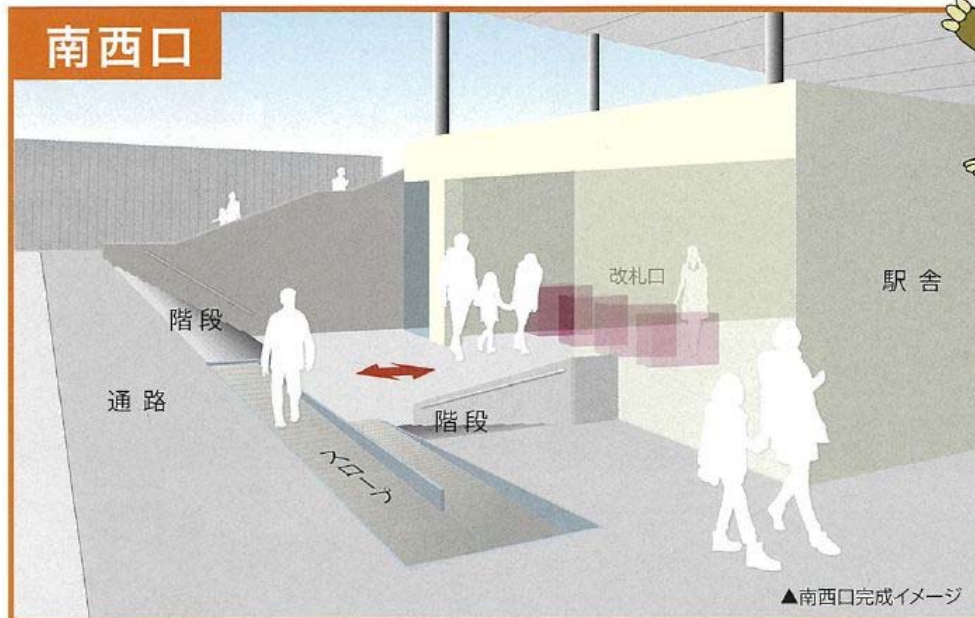
イメージパース
【下北沢駅から西側を望む】



立体緑地の歩行者動線について①

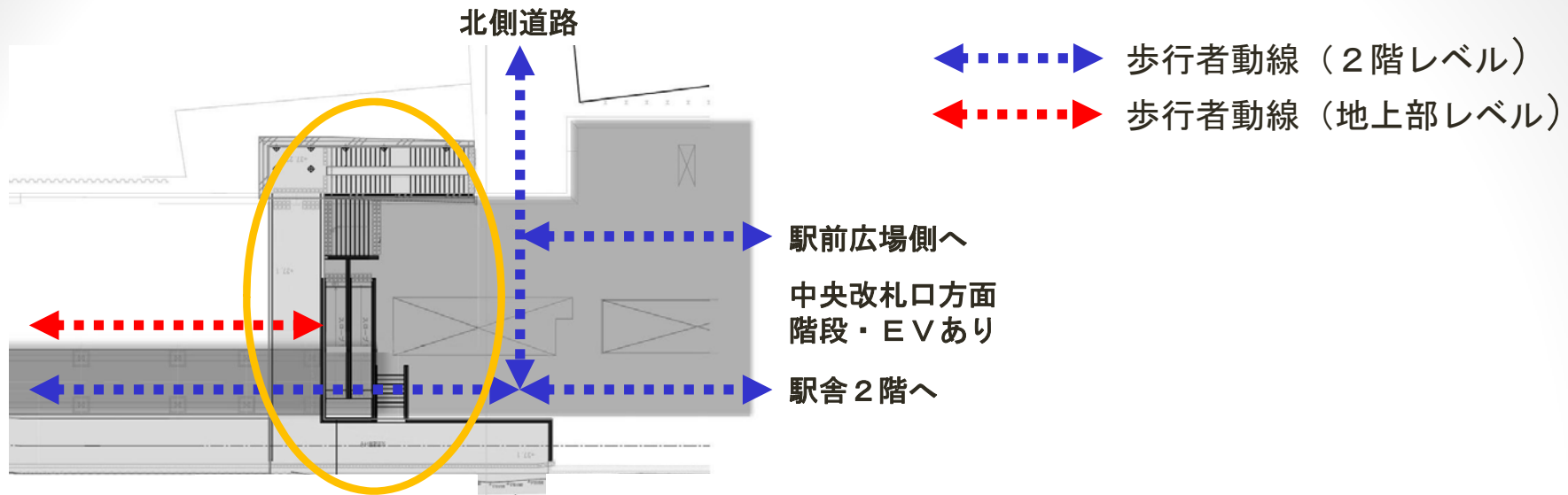


下北沢駅に新しく南西口改札ができます！

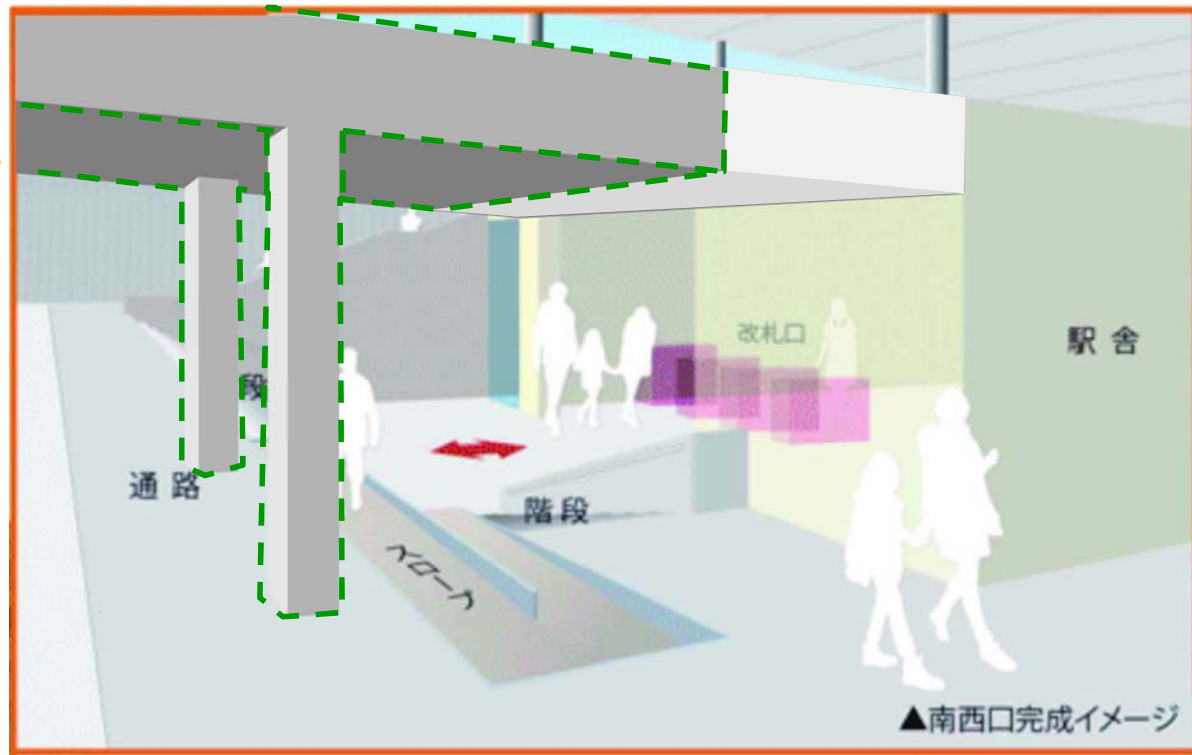


※シモチカナビより

立体緑地の歩行者動線について②



※イメージ図



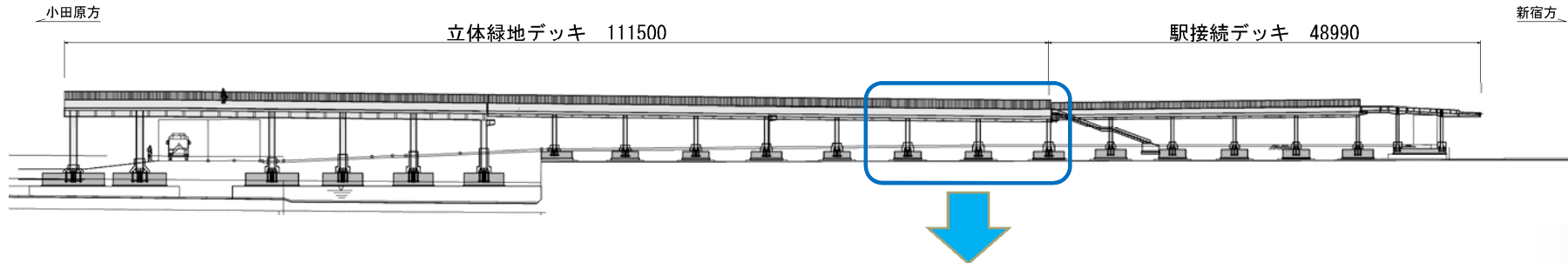
※シモチカナビより
(一部加工しております)

平面・立面図

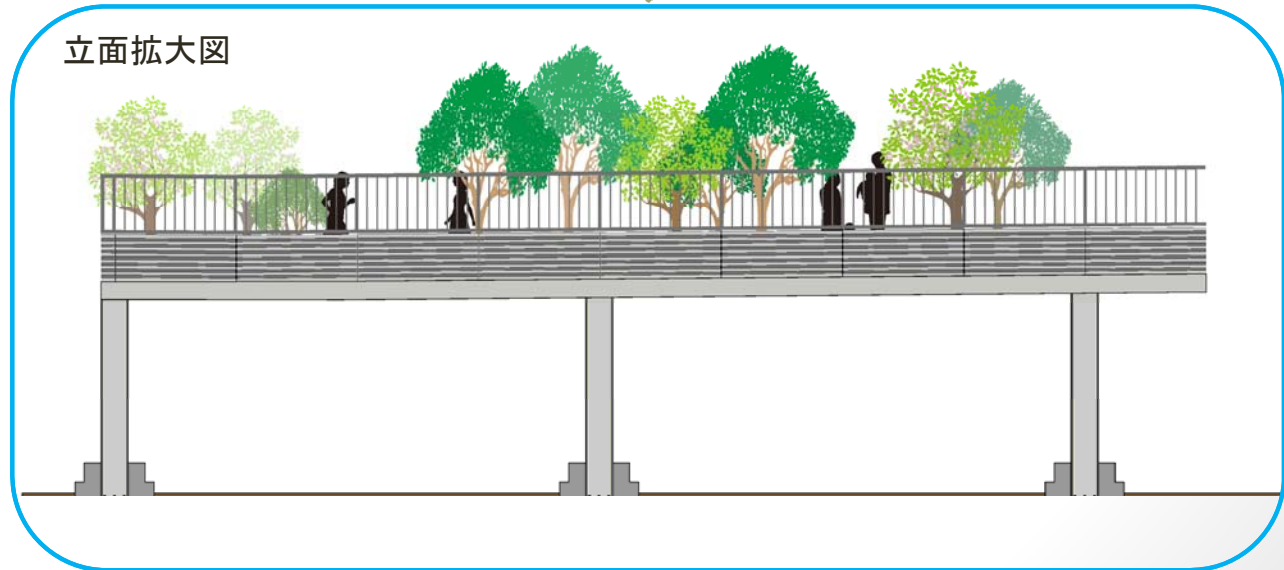
平面図



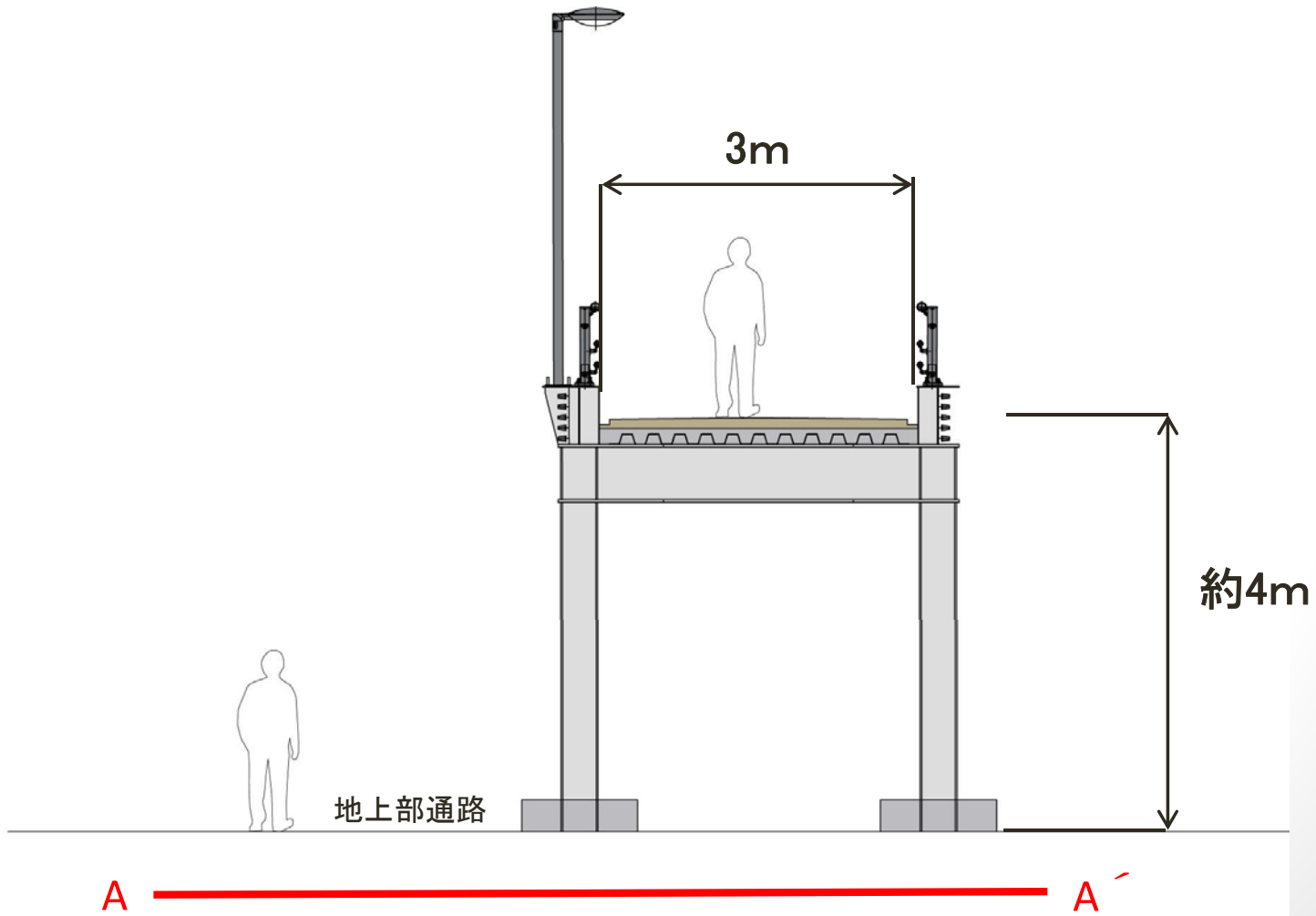
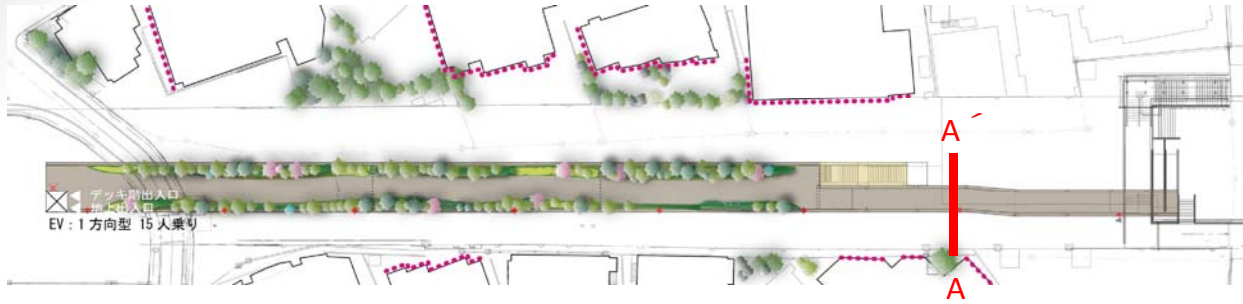
立面図



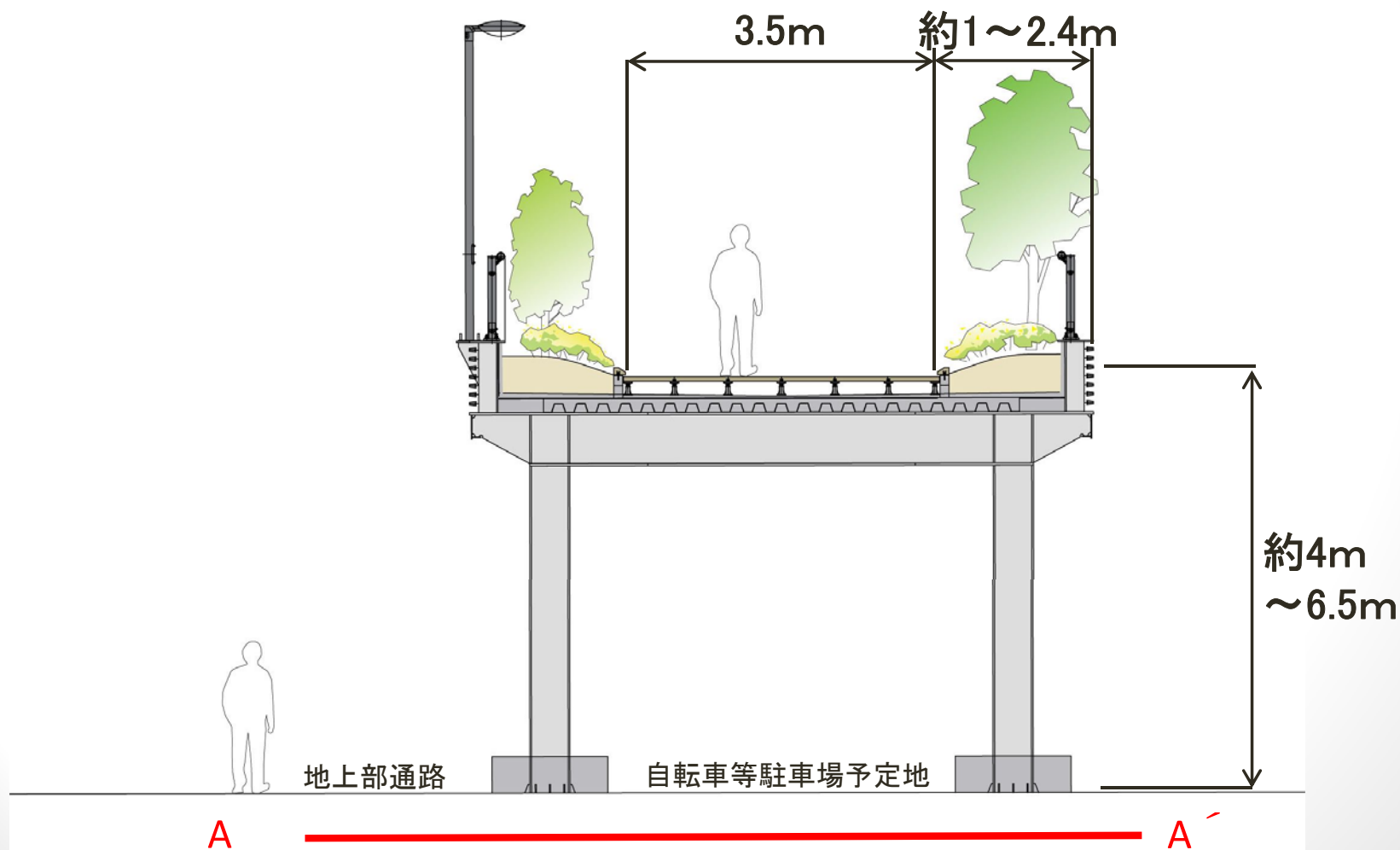
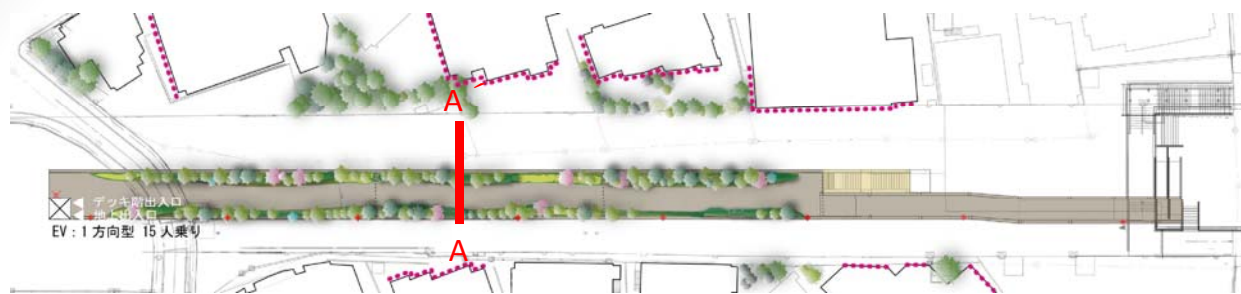
立面拡大図



標準断面図（駅接続デッキ）



標準断面図（立体緑地デッキ）



植栽計画



□凡例

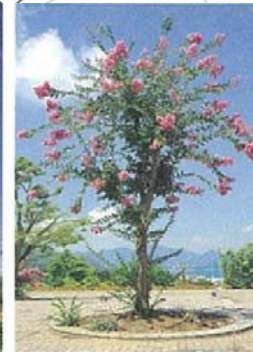
- 常緑: シラカシ・モチノキ・ソヨゴ等
- 落葉: ヨナラ・リョウブ等
- 花木: サルスベリ等
- 芳香木: ロウバイ等
- 低木等: フイリヤブラン・ユキヤナギ等
- ⊕ ハイポール灯
- ⊗ スポットライト
- 窓やベランダ等の開口部がある面



0m 10m 20m 30m



ソヨゴ



サルスベリ



ロウバイ



ユキヤナギ

※下線の樹種: 地域の在来種

※青字の樹種: 北沢デザインガイドに
植栽参考リストとして提示してある樹種

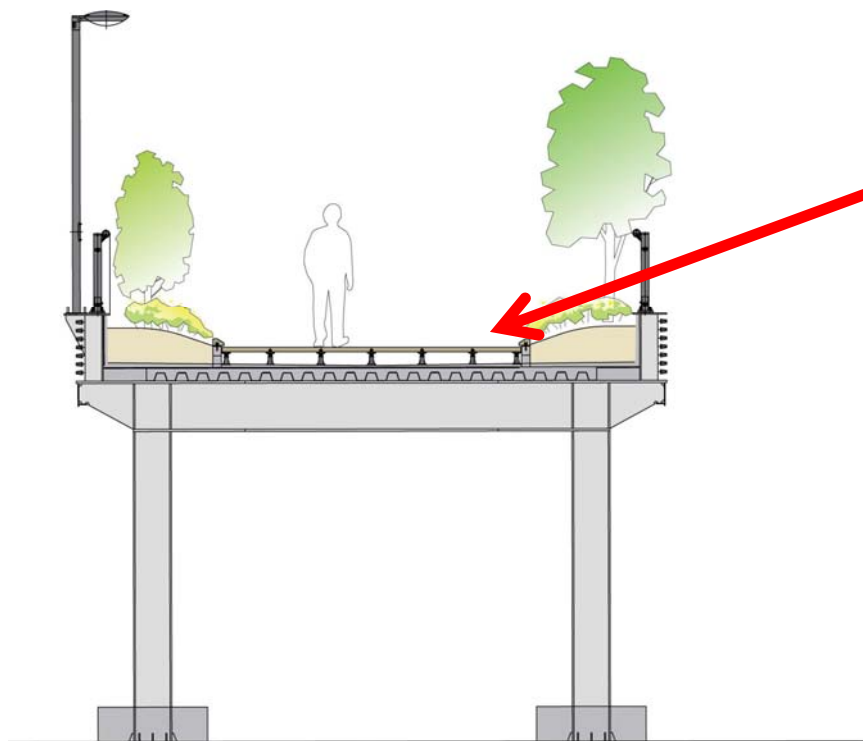
植栽計画（花暦）

【凡例】

- 開花時期
- 紅葉・黄葉時期
- 実がなる時期

樹種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【常緑高木】												
シラカシ									●	●		
ソヨゴ										●	●	
モチノキ	●	●									●	●
カラタネオガタマ					←	→						
【落葉高木】												
コナラ									●	●	●	●
リョウブ						←	→				●	●
ニシキギ									●	●	●	●
サルスベリ								←	→			
ロウバイ	←	→										←
【常緑低木・地被】												
トベラ					←	→					●	●
フィリヤブラン								←	→			
フッキソウ				←	→							
ヤブコウジ	●	●									●	●
【落葉低木】												
ガマズミ					←	→			●	●	●	●
シモツケ						←	→					
ヒヨウガミズキ			←	→								
ユキヤナギ			←	→								
ヤマブキ				←	→							
レンギョウ			←	→								

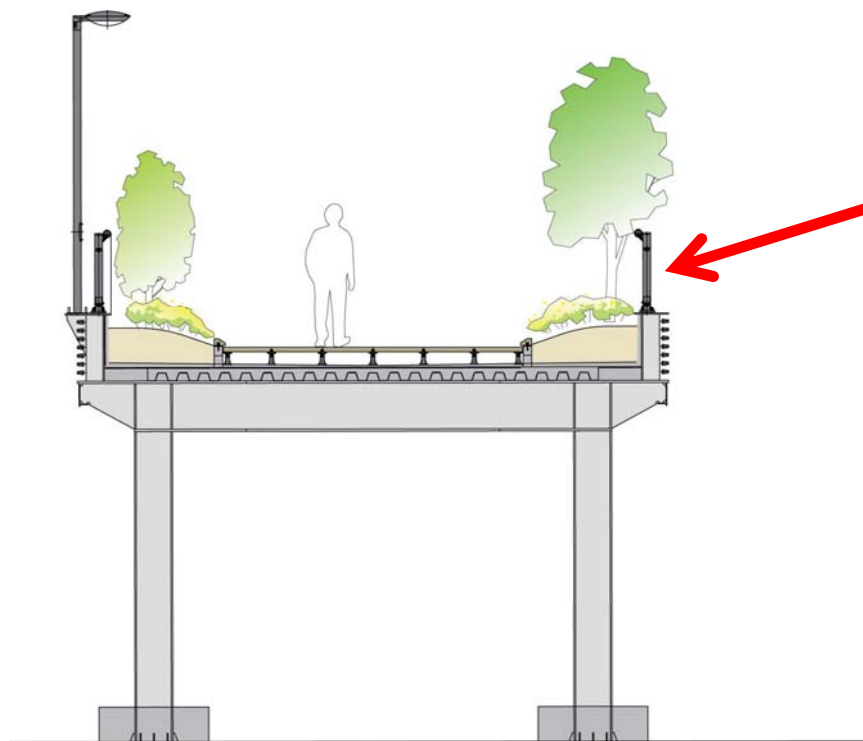
舗装材



舗装材

コンクリート製ブロック
表層は金華砂利の洗出し仕上げ

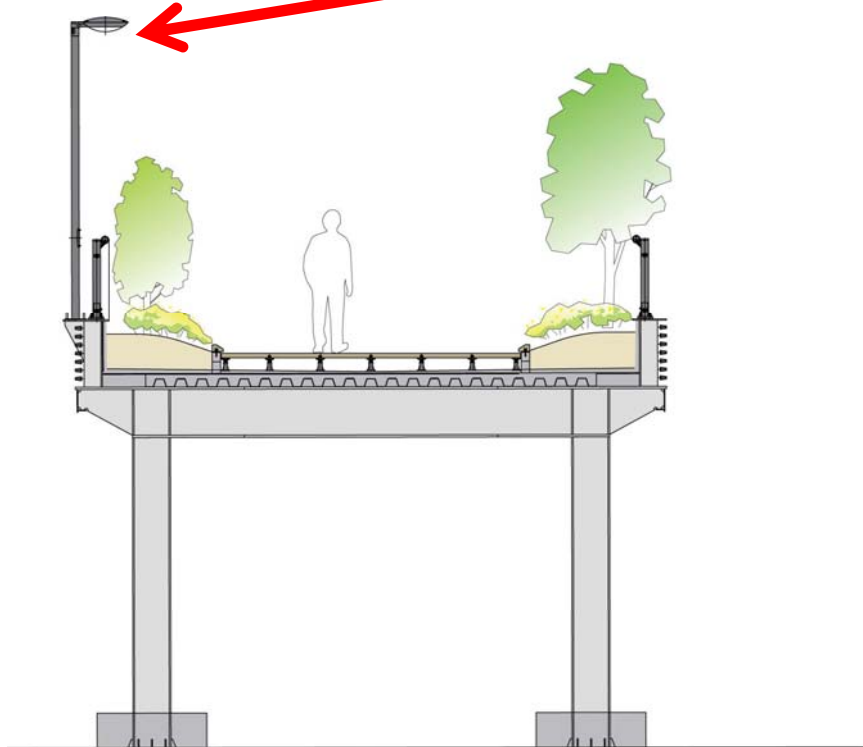
高欄（転落防止柵）



高欄

縦棧型アルミ高欄

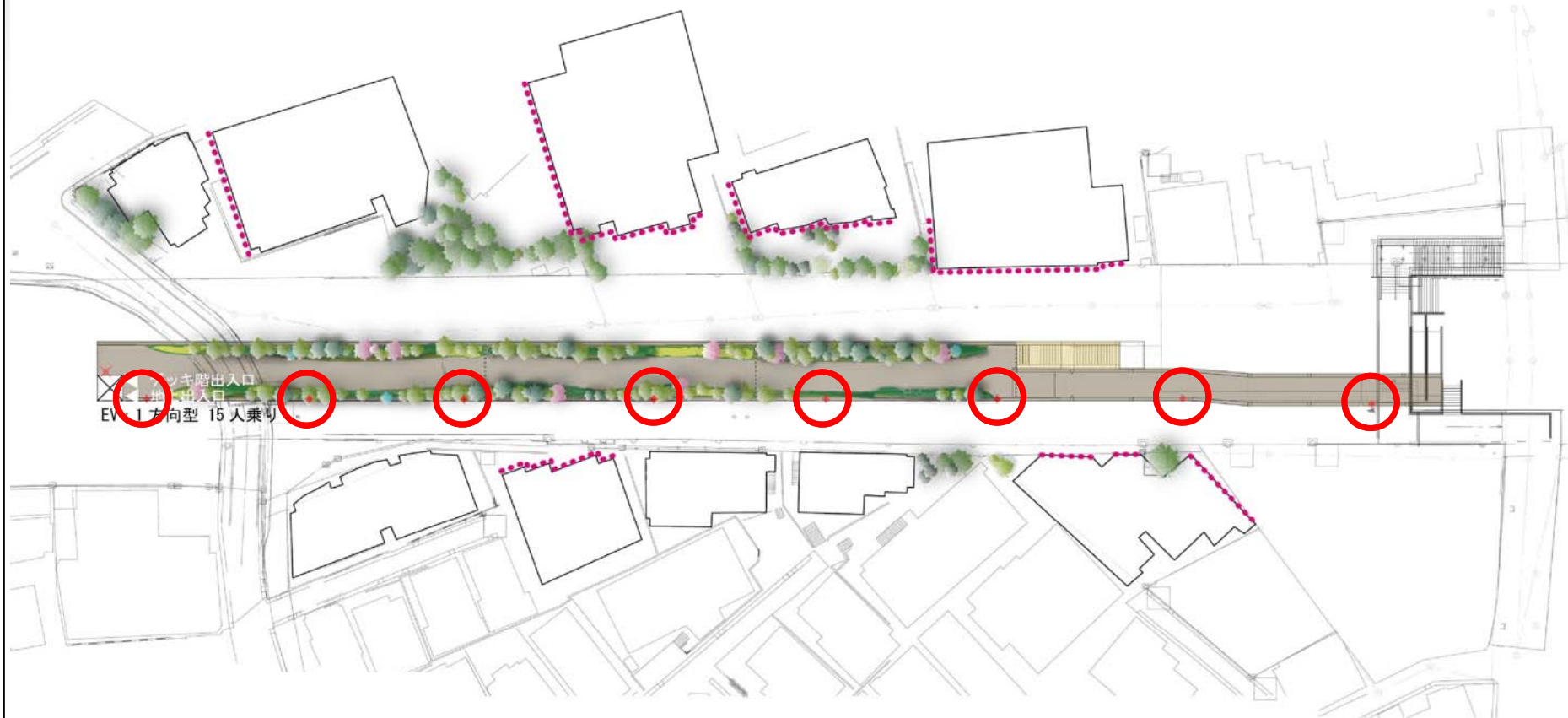
照明



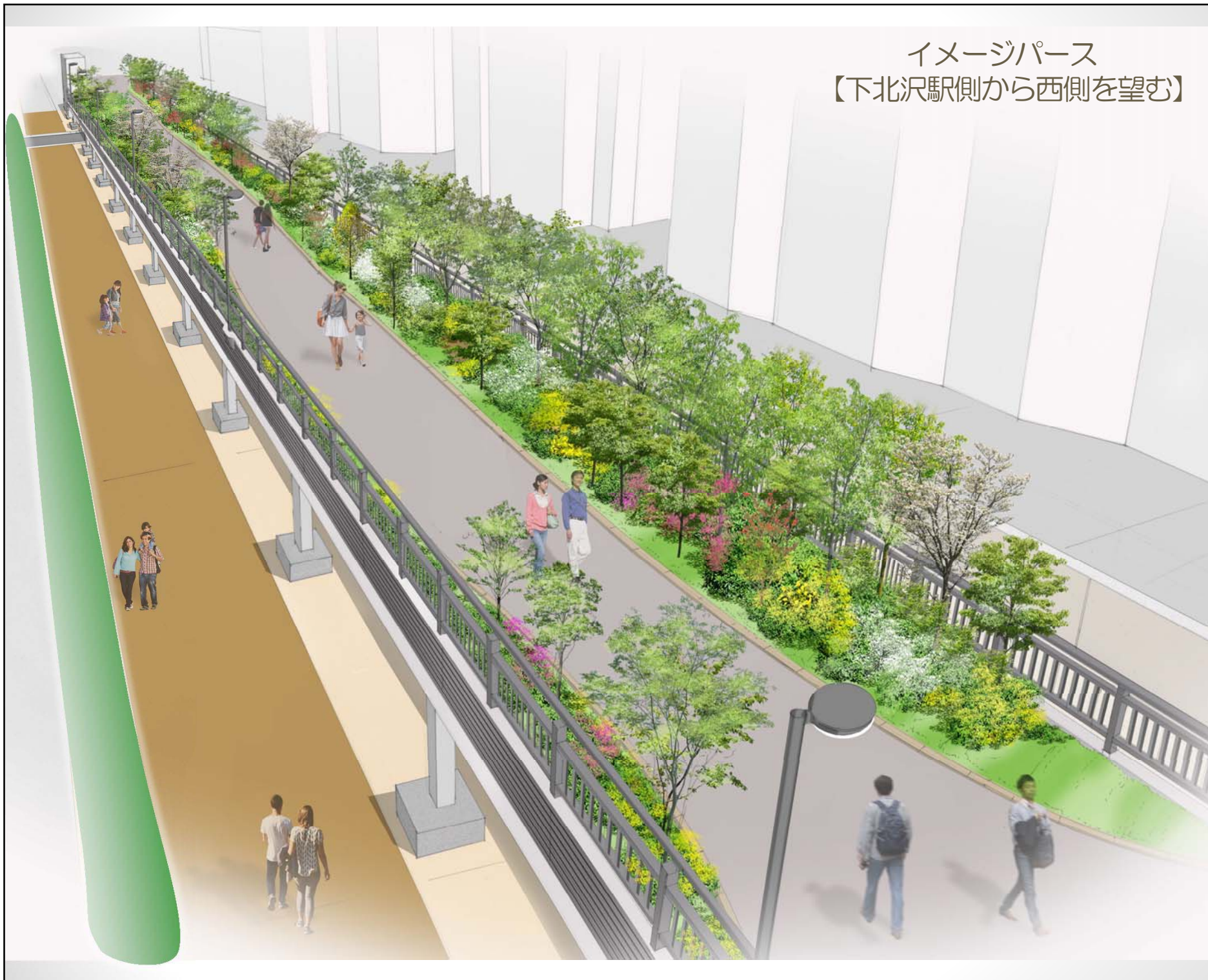
ハイポール照明

LED照明器具
高さ4.0m(通路舗装面から)

照明（配置）







イメージパース
【下北沢駅側から西側を望む】



今後の予定

小田急線複々線
完成

小田急線連続立体
交差事業等完了

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)
立体緑地本体部 整備工事(植栽 等含む)		 本体部分等	
立体緑地地中部 分基礎整備工事 (一部)	 一部基礎		
広場等整備工事			 広場等
報告会			

本日

立体緑地・通路・広場
等報告会(予定)